



きくがわ 社協だより

No.113

2014年
7月発行



ホームページ <http://www.kiku-syakyou.or.jp/>

菊川市社協

検索

社協(社会福祉協議会)は、みなさんと共に
「安心していきいき暮らせるまち」を考え、推進する民間団体です。

ふれあい広場「赤ちゃんはいはいレース」 参加者募集!!



平成26年10月25日(土)に実施するふれあい広場において、「赤ちゃんはいはいレース」を実施します。かわいい赤ちゃんランナーの参加をお待ちしております。

開催日時 平成26年10月25日(土) 13:30~14:00(集合13:00)

場所 菊川市民総合体育館

対象 菊川市在住で、開催当日に1才未満の乳児 先着20名

申込受付 8月11日(月)8:15より受付開始

申込・問合せ先 菊川市社会福祉協議会 ☎35-3724 FAX35-3202

社会福祉法人 菊川市社会福祉協議会

〒439-0019 静岡県菊川市半済1865(プラザけやき内)

☎(0537)35-3724 Fax(0537)35-3202

Eメール info@kiku-syakyou.or.jp

「地区社会福祉協議会」ってなに?

地区社会福祉協議会とは

地区社会福祉協議会（以下、「地区社協」とは、地域の中にある個々の課題に気づき、その課題に対する取り組みをつくっていく活動をする組織です。地区社協は、組織ありきではなく、地域の中で活動に関心があり、熱意がある人たちがボランティアで活動します。

また、組織や予算から活動が始まるのではなく、地域の課題に対して、自分たちは何ができるのだろうか」というところからスタートしていきます。

菊川市社会福祉協議会は、地区社協の事務局的存在として、様々な団体や機関とのコーディネートをし、相互理解を深めていくための働きかけを行います。

また、活動を支援していくために、情報提供や他地区との情報交換の場を設定したり、活動資金の助成を行ったりします。現在、「地域福祉推進基礎組織育成モデル事業」として助成を行い、菊川市社会福祉協議会と協議しながら、各地区の活動を行っていただいております。

平成24年度からは、小笠東・加茂・町部地区、平成25年度からは、河城・六郷・平川・嶺田地区、平成26年度からは、西方・内田・横地・小笠南地区で事業を開始い

たしました。

各地区の主な取組み

どの地区も同じ活動をするのではなく、各地区の課題によって取り組む活動も変わってきます。今回の特集では、平成24年度から事業を開始した小笠東・加茂・町部地区が行っている活動の主なものを紹介します。

小笠東地区社会福祉協議会

★地域福祉関係者連絡会

小笠東地区で地域福祉活動を進めるにあたって、連携を必要とする関係機関・団体の方々にお集まりいただき、連絡会を実施しています。

内容としては、それぞれの活動紹介をしていたいただき、小笠東地区の地域福祉活動等について情報共有をし、団体や機関が連携・協力することによって、よりよい地域にしていくための意見交換を行います。

昨年度は、小笠東地区社協関係者、小笠東小学校、社会福祉法人和松会、民生児童委員の皆様にお越しいただきました。

★エコバスケットで地域づくり

昨年度は、世代間交流を図るため、プラスチックの荷紐や広告折り込み等を利用した「エコバスケット」づくりを行い

ました。

作製したエコバスケットは、一人暮らし高齢者宅にお届けし、見守り・声掛け活動も行いました。



▲地域福祉関係者連絡会

加茂地区社会福祉協議会

★高齢者サロンの開催

高齢者の介護予防や孤立防止を目的に、4つのサロンを開催しています。子どもたちとの交流や健康体操、レクリエーション、物作り、昼食をとりながらのおしゃべり等、楽しい時間を共有しています。

・ゆうゆうサロン

対象者 加茂地区内 80歳以上の方
開催 毎週水曜日

・小川端サロン

対象者 小川端自治会内 80歳以上の方
開催 年4回

・白岩下サロン

対象者 白岩下自治会内 80歳以上の方
開催 年4回

・白岩段サロン

対象者 白岩段自治会内 80歳以上の方
開催 年4回

★一人暮らし高齢者にしめ飾りを届ける企画

青少年健全育成会が主催する「しめ飾りづくり教室」と併せて、企画を実施しています。毎年、高齢者宅に届ける担当を、加茂小学校4年生児童にお願いし、民生児童委員や地域サポーターとともに訪問していただいています。

子どもたちが地域の高齢者とふれあい、

自分たちにどんなことができるかを考えてもらう機会としています。



▲サロンでの健康体操

町部地区社会福祉協議会

★ふれあいいきいきサロンの開催

居場所づくりを目的に、4つのサロンを開催しています。堀之内幼稚園児との交流、健康体操、レクリエーション、歌、群読、昼食をとりながらのおしゃべり等、年齢に関係なく楽しい時間を共有しています。

・日吉町・宮前・緑ヶ丘サロン

対象者 日吉町・宮前・緑ヶ丘自治会内
開催 年4回
にお住まいの方

・柳町サロン

対象者 柳町自治会内にお住まいの方
開催 年3回

・本通り・西通り・新通・初咲町・日之出町二丁目サロン

対象者 本通り・西通り・新通・初咲町・日之出町二丁目自治会内にお住まいの方
開催 年4回

★おかえりなさいコール運動

学校が展開しているあいさつ運動を地域全体の取り組みとして展開していけるよう、学校と地域が一緒になって取り組んでいるものです。

まずは、地域の大人が意識してあいさつをするような雰囲気づくりとして、子ども達が学校から地域に戻って来たときに、「おかえりなさい」と声を掛けていただき、子どもから「ただいま」と声をかけ合えるように運動を展開しています。



▲サロンでの園児との交流

お問合せください

各地区の活動に参加してみたい、詳しく知りたい、という方はぜひ一度お問合せください。

問合せ先

菊川市社会福祉協議会



35-3724

FAX 35-3202



● 剪定ボランティアをきっかけに、地域の変化を目にしました ●

Q 現在の活動について教えてください。

現在、菊川市社会福祉協議会ボランティアセンターからの紹介で、福祉的な支援が必要な方等3件の家の剪定ボランティアをしています。

私は、55歳の時から植木屋の仕事を始めました。この仕事を始める時、植木屋の方に「自分で剪定の練習をしとかなくてはいけないよ」と言われました。そのことがきっかけで、知り合いの家に剪定させてほしいとお願いし、仕事が休みの日には様々な家に行って剪定させていただいています。



牧野享さん(堀田下)

最初は、自分のためにボランティアでやっていたのですが、依頼もいただくようになりました。仕事で行ったある家の方が、「荒れた家から出てきたくなかった。よかった。」と言っていました。この言葉は、「亡くなる時は剪定されたきれいな家から出たい。」という意味が込められているのだと思います。

また、ある方が「山がでかくなってしまった」と言っていました。昔なら、山はある程度伸びると切って木材にしていたますが、今は切る方もいなくなり、山はどんどん大きくなってしまったのです。

この2つの言葉が私の頭の中に残っており、「亡くなる時はきれいな家から出てもらいたい」、「木がぼさぼさになっているのは嫌だな」という気持ちを持ちながら、様々な家の剪定をしてきました。

そして、昨年の夏頃からは、高齢になったことで自分では剪定ができなくなって困っている方もいるのではないかと思います。菊川市社会福祉協議会ボランティアセンターに剪定ボランティアの相談に行き、一人暮らしの高齢者で剪定が難しい方等、福祉的な支援が必要な方の家にも行くようになりました。

Q 活動して楽しいことや印象に残っていることがあったら教えてください。

剪定に行くようになったある家についてです。私が剪定ボランティアとして伺うようになったら、話す機会の少なかったこの家の方と隣近所の方が話をされるようになりました。

また、隣近所の方も自分の土地の竹林を気にかけ、伐採を始めました。さらに、この家の方の竹林も気にかけ、きれいに切ってくださいました。竹林を伐採したことにより、日が入るようになり、ご本人もとても喜んでいました。

このように、剪定に行くようになったことがきっかけで地域の方同士の関係が深まり、とても印象に残っています。

Q これからの目標や、やってみたいことがあったら教えてください。

高齢になってきた方など、剪定してほしいという気持ちもあるとは思いますが、植木屋さんやシルバー人材に頼むほどでもないと思っている方は多いのではないかと思います。高齢者だけで暮らされている方、一人暮らしの高齢の方で自分だけでは剪定が難しい方で福祉的な支援が必要な方のところへはもっと行きたいと思います。

また、一緒に剪定ボランティアとして活動していただける方も募集しています。

※皆さんのお近くで笑顔輝いている方がいましたら社会福祉協議会へご紹介ください。



菊川市老人クラブ連合会

心のポケットにしまっておいた詩句を人はときおり取り出しては、味わい直すといいます。`年を重ねただけで人は老いない、`理想を失うとき初めて老いる、は、よく知られています。

「お若く見えますね」と言われたら、「年をとったな」と言われていることにもなるそうです。

リタイア後、あこがれた毎日が日曜日の暮らしを無聊^{ぶりよう}がる人もいます。

あとは、人生訓と説教癖というのでは、少々寂しいでしょう。だから老人クラブがあるのです。

その菊川市老人クラブの誕生は、平成17年の合併と同時です。現在、15単位クラブ、会員600人で元気よく活動しております。

活動内容の主なものは、地域の高齢者が喜びや生きがいを共有し、己の健康と皆が楽しめる活動を通じ高齢者間の繋がりを大切に社会に貢献するクラブづくりに励んでおります。

その中で輪投げ大会、ゲートボール大会、ペタボード大会は、いつも盛況であり活況を呈しており、高齢者の健康づくりに大いに役立っています。

また、健康教室ウォーキングも史跡を訪ね新しい発見があり勉強となっています。そして、文化活動として大勢の人が集い発表の場となっている芸能祭、年1回の研修旅行は、会員の楽しみの一つです。女性部を中心とした社会奉仕、ボランティアの友愛訪問は、大いに喜ばれています。

その他、地元警察署と連携したシルバーポリスの自主活動、地域文化の伝承、子どもとのふれあい交流活動、児童の登下校時の見守り、高齢者の事故防止等の活動を年間行事として実施しております。



全国的に老人クラブ会員数の減少、解散が目立ちます。

会員の高齢化は、後継リーダーの確保が難しくなるだけでなく、活動にも支障をきたします。

クラブの活性化のためには、若年会員の加入が必要です。よろしくお願いいたします。

問合せ先

菊川市老人クラブ連合会（事務局：菊川市社会福祉協議会） ☎35-3724



第2回菊川市障害者フライングディスク交流大会を開催しました



6月7日(土)に菊川市民総合体育館において、障害者フライングディスク交流大会を開催しました。身体障害者福祉会会員や手をつなぐ育成会会員、社会福祉法人草笛の会利用者等、44名程が参加し、フライングディスクをとおして親睦を深めました。また、作品展やペタボード体験も行われ、大いに盛り上がりしました。

大会運営あたっては、民生児童委員や学生ボランティア等、約20名の皆様にご協力いただきました。ありがとうございました。

精神障がい理解普及啓発交流事業「ふれあい企画」を開催しました

6月15日(日)に当事者との交流をとおして精神障がいへの理解を深めることを目的に、社会福祉法人Mネット東遠と共催にて「ふれあい企画」を開催しました。学生、当事者、ボランティア等含めて約50名が参加しました。

今回は、4～5名のグループになり、テーマについての会話や東名インター前の花壇作業を楽しみました。花壇作業では、レンガや玉砂利運びを行いました。花からレンガアートになった花壇をぜひご覧ください。



菊川市老人クラブ連合会「第3回ペタボード競技大会」を開催しました



6月17日(火) 菊川市民総合体育館において、スポーツに親しみ、体力の維持と健康の増進に努めることを目的に、「ペタボード大会」を開催しました。大会には、155名程が参加し、日頃会えないクラブ同志の親睦を深めながらの交流となり、大いに盛り上がりしました。

結果は、次のとおりです。

優 勝 西嶺田峰友会B
準優勝 青葉会
三 位 堂山光洋会B



ボランティアの広場

ボランティアの輪・和・話(三つの“わ”)

小笠児童館小学生ボランティアサークル

小笠児童館の小学生ボランティアサークルは平成14年から始動今年で13年目になります。毎月1回の活動日にゴミ拾い、草取り、募金活動、老人施設への慰問、児童館大掃除の手伝いなどの活動をしています。26年度は2年生から6年生までの17人が5月より活動を始めました。活動で出会った皆さんから「がんばっているね」「ありがとう」などの温かい言葉をかけてもらうこともあり励みになると同時に、自分のやっていることで少しでも喜んでくれる人がいることを感じ自分の喜びにもなっています。これからも元気いっぱい自分たちのできることを頑張っていきたいと思います。



問合せ先 ボランティアセンター ☎35-6385

ボランティアグループからのお知らせ

①「おんがくの広場」にいらっしやい!

ハンドベル、アコーディオン、箏(こと)、ギターや四季折々の歌、なつかしい歌、はやり歌など。どなたでも自由に参加できます。一緒におんがくを楽しみましょう。

日 時 平成26年8月9日(土) 10月11日(土) 12月13日(土) 全て13:30~14:30
場 所 特別養護老人ホーム喜久の園 地域交流センターうらら
主 催 おんがくの広場(音楽ボランティアグループ)
問合せ先 ボランティアセンター ☎35-6385

②「みんなで子育てカラフル・ブリッジフェア IN アエル」

子育てに役立つ情報発信や体験講座、楽しいLIVEやフリマも開催します。

日 時 平成26年8月9日(土) 10:00~14:30
場 所 菊川文化会館アエル
内 容
○講座 ママのための防災講座 色で学ぶ子ども防災講座
0歳から始める予防歯科とかみ合わせの予防 など
○体験 カラーサブリ 万華鏡作り ベビーマッサージ
お絵描きセラピー 色育体験 カムロ体験
クレイアート教室 kidsフォト ドラムサークル
アロマ心理リーディングとアロマクラフト作り など
○LIVE カラフルパレット 小出鮎美 SHAKA2
○販売 ハンドメイド品 焼き菓子 野菜 楽器 フード など
○同時開催 はたらく車の展示・記念撮影 消防車に乗ろう!
静岡県警楽団の演奏会



問合せ先 子育てサポーターばれぼれ 倉部 ☎35-2781 E-mail kurabe324@gmail.com

求むボランティアさん

問合せ先
ボランティアセンター ☎35-6385

障害者支援施設 清松園

活動内容

散歩付添い、花壇の手入れ・車いすの整備

活動日時 いつでも

募集対象 一般、学生

(大学生・専門学校生・高校生)

障害者支援施設 光陽荘

活動内容

利用者の買い物の付き添い

活動日時 木曜日 13:30~16:30

募集対象 一般、学生

(大学生・専門学校生・高校生)

特別養護老人ホーム 松秀園

活動内容

話し相手、食事介助、手芸
・工作補助、草取りや園内の窓拭き

活動日時 事前連絡で調整します

募集対象 一般、学生

(小学5年生以上)

ボランティア相談 月~金曜日 8:15~17:00 プラザけやき ☎35-6385

ひきこもりについて考えてみましょう 学習会を開催します

日時 平成26年9月4日(木) 13:30~15:30(受付13:00~)
場所 菊川市総合保健福祉センター プラザけやき201会議室
テーマ 「家庭を治療の場に」～ひきこもりからの回復にむけて～
講師 SCSカウンセリング研究所カウンセラー
対象者 一般市民の方、当事者・家族、相談に関わっている方等
定員 30名

申込・問合せ先 菊川市社会福祉協議会 ☎35-3724



視覚障がい者の移動介助について学びましょう ガイドヘルパー研修会

日時 平成26年9月6日(土) 9:00~12:00
場所 菊川市総合保健福祉センター プラザけやき201会議室
内容 講義「移動介助の基礎知識」演習「移動介助の基本技術」
 質疑応答
講師 身体障害者支援施設 光陽荘 副施設長 伊東眞由美 氏
対象者 菊川市登録ガイドヘルパー
 菊川市在住のホームヘルパー2級以上有資格者
定員 30名

申込締切 8月22日(金)

申込・問合せ先 菊川市社会福祉協議会 ☎35-3724



～きたるべき日に備えて!!～

災害ボランティア支援本部立ち上げ訓練 参加者(個人・自主防災会・企業団体)募集

菊川市においても、大規模災害に備えて「菊川災害時ボランティアコーディネーター(菊ボコ)」と協働で『災害ボランティア支援本部』立上げ訓練を行います。

～ 災害ボランティア支援本部の役割 ～

- ① 避難所や被災現場でのニーズ収集
- ② 県内外から駆け付けるボランティア受付
- ③ 必要な人材(ボランティア)を必要な場所へ調整の上派遣



「災害ボランティア支援本部」の役割を多くのみなさまに知っていただくこと、自主防災会や関係機関、企業のみなさまとの継続的な連携を保つこと、またそれらに必要な相互理解を深めることにより地域防災力(＝地域の福祉力)を高めることを目的とします。本訓練に参加協力していただける個人・自主防災会・企業団体を募集します。(参加の方法は個別に対応します。)

日時 平成26年8月30日(土) 9:20~12:00(雨天決行)

場所 プラザけやきを主会場に市内各所に派遣

申込・問合せ先 菊川市社会福祉協議会 ☎35-3724

相談窓口

福祉総合相談

日時 月～金曜日 8:15~17:00

心配ごと相談

日時 8月 1日(金) 9:00~12:00

8月 15日(金) 13:00~16:00

会場 プラザけやき

日時 8月 5日(火) 13:00~16:00

8月 20日(水) 9:00~12:00

会場 菊川市役所 小笠支所

結婚相談

日時 8月 1日(金) 18:00~21:00(受付20:00まで)
 8月 17日(日) 9:00~12:00(受付11:00まで)

会場 プラザけやき

※初めての方は写真と印鑑をご持参ください。

ひきこもり、不登校無料相談

日時 8月 4日(月)・18日(月) 13:00~16:00

会場 菊川児童館(プラザけやき2階)

予約電話 090-1476-3233